

プロダクティブ・エイジング トピックス 2019

—海外情報—

5月



ILC グローバル・アライアンス関係のイベント

●ILC-UK: 報告書「一皮むけば:インフルエンザ予防接種に関する高齢者の声を聞く」

この報告書では、これまでの研究で明らかにされてこなかった、インフルエンザ予防接種に対する高齢者の意識を検討している。主な結果は以下の通り。

- ◇ 高齢者のインフルエンザ予防接種では、意識・態度が重要な要素となっている。
 - ◇ 特定時期に行われるインフルエンザ予防接種に対する高齢者の躊躇は最終的に、実施率へ影響を及ぼす。これは、より広範な予防接種に対する一般市民の躊躇と異なる現象である。前者はより特殊であり、また制度への信頼をめぐる広範な懸念とはあまり関係していない。
 - ◇ 高齢者のインフルエンザ予防接種実施率を向上させる取り組みでは、前向きで健康的なライフスタイルの選択肢として予防接種を打ち出す必要がある。
- <https://ilcuk.org.uk/under-the-skin-listening-to-the-voices-of-older-people-on-influenza-immunisation/>
- <https://ilcuk.org.uk/wp-content/uploads/2019/05/ILC-Under-the-skin.pdf>



海外のイベント

●シンガポール:シンガポールの会議で自立支援の新製品を発表

シンガポールで開催された Ageing Asia Innovation Exhibition では、高齢者向けの様々な製品が紹介された。以下はその例である。

- ◇ **NeU ExBrain**: 脳の活動センサーであり、脳の認知機能を訓練・改善する脳トレアプリを提供。
 - ◇ **LAPPSET** によるメモリーゲーム: パターンやゲームを用いて、脳を刺激し運動スキルを向上。
 - ◇ **Walabot Automated Fall Monitoring Device**: 音声作動式の転倒モニタリング(約 10ドル)。
 - ◇ **SilverFit** の 3D カメラ: バーチャルセラピープログラムを提供。
 - ◇ **ACSIVE**: 無動力歩行支援機。
 - ◇ **MIRA Rehab**: 臨床的にガイドされた動きを通じてモビリティ回復を図るシステム。
 - ◇ **Sentida ベッド**: 有線および無線のインターフェイスが整備され、患者の記録システムとつなげられる。
- <https://insideageing.com.au/new-products-to-support-independence-unveiled-in-singapore/>



海外のニュース

●英国:「Granny dumping(姥捨て)」ほう助で初めて拘置

英国で初めて「姥捨て」ほう助でサイモン・ヘイズが拘置された。

サイモンの友人であるアメリカ人のケビン・カーリーは、78歳の父親で認知症を患うロジャー・カーリーとロサンゼルスから英国まで飛行機で移動し、身元が分からない状態でヘレフォードのバス停にロジャーを置き去りにした。

サイモンはケビンと共謀し、ロジャーを見つけたと言って NHS の医師に引き渡した。ケビンは米国で、虐待、詐欺および誘拐の取り調べ中である。ヘイズは司法妨害を認めた後、2年半の刑期を言い渡された。

- <https://inews.co.uk/news/health/granny-dumping-elderly-people-dementia-roger-curry/>

●英国:ケアホームでの Alexa 利用拡大計画

Digital Line、Canford Care、Amazon および WDSI では、ある高齢者ケアホームで [Alexa](#) を実験的に導入した。

この取り組みではまず寝たきりと認知症の人に重点を置き、第1段階として電気の On/Off、好みのラジオ選択、最新ニュースなどに取り組んだ。介護者や入居者によると、この実験の結果、入居者の生活が改善されケアワーカーの時間が浮いたと

のことである。

またこの機器は、入居者の孤立防止にも役立つ。LifePod や Cuida Health の LiSA など他の組織も、音声支援の能力を拡大し、高齢者や介護者のニーズに応えるよう取り組んでいる。

- <https://voicebot.ai/2019/05/15/alexa-program-at-uk-care-home-shows-the-power-of-voice-first-devices-for-the-elderly/>

●英国:ケアホームで最期を迎えられるよう、英国の男性が救急車を拒否

この事例は BBC で紹介されたものである。

86 歳で敗血症と見られる男性を治療するよう、救急隊が呼ばれた。血圧や血糖値などの測定後、救急職員は病院搬送の必要性を感じた。しかし患者本人は医療処置に痛みを感じ、病院へは行かず、自分が住むケアホームで最期を迎えたいと明確に伝えた。この男性の希望には家族も同意し、男性は緩和ケアを受けた後に死亡した。

- <https://www.manchestereveningnews.co.uk/news/greater-manchester-news/bbc-ambulance-moving-moment-elderly-16287890>

●イングランド:ケアホームでの服薬トラブル対応に向け薬剤師を派遣

イングランドでは約 40 万人がナーシングホームや介護施設に入居しているが、彼らは毎日平均 7 種類の薬を服用している。

保健局では、弱い立場の高齢者が数年にわたり複数の薬の「カクテル」を服用し続け、副作用にさらされることへ懸念を持っている。高齢入居者による入院のうち、最大 4 割は薬を過度に使用せず適切なケアを受けていれば予防可能であったと当局は指摘する。

NHS イングランドでは、不要な入院を避けるよう入居者をチェックし、服用薬を精査するために、薬剤師および調剤技師を数千人規模で派遣予定である。すでに 200 人以上の薬剤師および調剤技師が雇用されている。

- <https://www.telegraph.co.uk/news/2019/05/09/pharmacists-sent-care-homes-amid-fears-pensioners-put-risk-drugs/>

●スコットランド:高齢者ケア住宅会社が売り上げ崩壊により保護下に

大手高齢者ケア住宅会社の Four Seasons が破産申請を行った。同社は 322 の施設で 22,000 人の高齢者に住宅を供給している。今回の破産は、2011 年の Southern Cross の破産以来最大のケアホーム破綻である。

- <https://www.kirkintilloch-herald.co.uk/health/fears-for-east-dunbartonshire-elderly-residents-as-care-home-giant-collapses-1-4918012>

●**アイルランド:高齢ドライバーは若年ドライバーよりスピード違反しやすい**

アイルランドでは、ドライバーの 52%がスピード違反をしているが、なかでも多いのが高齢者である。Liberty Insurance の調査によると、スピード違反で罰金や罰則を受けたのは、国の平均では 26%だが、60 歳以上では 38%だった。

- <https://www.thesun.ie/news/4062600/older-most-likely-drivers-to-break-speed-limit-liberty-insurance-survey/>

●**アイルランド:高齢者の孤独対応に向けたロボット Stevie II の開発**

トリニティ・カレッジのエンジニアたちはこの度、Stevie II を発表した。これはアイルランドで最初の社会的支援ロボットをアップグレードしたもので、AI を搭載している。Stevie II は前モデルよりもさらにモバイルであるとされ、レーザー距離測定装置や深度カメラ、視覚センサーなど高度な感知技術を活用し、人間や周辺環境との交流を図る。

Stevie のコンセプトは、ケアホームの雑事をこなすことであったが、入居者はむしろ Stevie の社会的側面を評価していることがわかった。

- <https://www.irishnews.com/magazine/technology/2019/05/15/news/irish-university-develops-robot-to-battle-loneliness-in-the-elderly-1620634/>

●**フランス:高齢者向けの自動電気シャトルバス試験事業に 2 億ユーロ投資**

フランスの交通大臣は、自動電気自動車を用いた交通手段の開発を発表した。政府は国内 16 地域で、自動運転の電気自動車を用いて試験事業を行い、これに対して 2 億ユーロ投資する予定である。

また法的枠組みも整備する方向。これはつまり、自動電気自動車を公道で走れるようにする法律を、フランス政府が策定するということである。大臣は、この取り組みが目指すのは、人々が車を運転しなくてもよくなり、また高齢者に役立てることであると述べている。法律に関しては、すでにモビリティ指針法 (la loi d'orientation des mobilités) と呼ばれる案が上院を通過し、今夏に最終採択予定である。

これによって 2020 年より、自動運転のシャトルがすべての公道を自由に走れるようになる。

- <https://www.electrive.com/2019/04/25/france-e200m-to-launch-legalise-autonomous-shuttles/>

●**スウェーデン:Accenture Interactive が高齢者の孤独に対応する AI ソリューションを発表**

Accenture はこの度、高齢者の孤独に対応する AI ソリューションを発表した。Memory Lane と呼ばれるこのソリューションは Google Voice Assistance とともに機

能し、ユニークな会話の AI を用いて人々(特に高齢者)が未来の世代へ思い出深い話を残せるようにするとともに、孤立へも対応する。

Memory Lane では人々の会話を捉えると、即時にそれを物理的な本やポッドキャストに変換する。

➤ <https://www.businesswire.com/news/home/20190430005135/en/>

●スウェーデン:キャッシュレス化が進む中、高齢者団体が運営するカフェでは今も現金使用可

スウェーデンではキャッシュレス化が進んでおり、IKEA など多くの店舗では現金払いができなくなった。しかし、皆がこれを喜んでいるわけではなく、高齢者団体が運営するカフェでは今も現金が使える。

高齢者の中には、新しいテクノロジーだけでなく、支払いに必要なアプリに対応したスマートフォンの費用を心配している、と高齢者権利団体の Christina Tallberg 氏は語る。とにかく、駐車するにも公衆トイレを使うにも、適切なアプリが入ったスマートフォンを購入しないとイケないのである。

➤ <https://www.cbsnews.com/news/sweden-is-going-cashless/>

●米国:「Power of Touch(タッチングの力)」キャンペーン

GCOA (Global Coalition on Aging)は全国介護者連盟(National Alliance for Caregiving)およびネスレスキンヘルス SHIELD と共同で、「肌に触れる(Touching)」というシンプルな行動がいかにして身体的にも心理的にも効果があるか、という点で介護者の啓発に取り組んでいる。「触れる力(Power of Touch)」の取り組みではビデオと冊子を作成し、スキンケアと介護者・要介護者の心理的なつながりという両面から、タッチングのメリットを伝えている。

- <https://globalcoalitiononaging.com/2019/05/20/gcoa-partners-on-campaign-to-empower-elder-caregivers/>
- <https://globalcoalitiononaging.com/initiatives/#initiative-956>
- https://globalcoalitiononaging.com/wp-content/uploads/2018/09/ThepowerofTouch_FINAL.pdf (冊子)
- <https://www.youtube.com/watch?v=5UePPEwdw8Y&feature=youtu.be> (ビデオ)

●米国:認知症フレンドリー・シティの取り組み

現在、米国のアルツハイマー病患者は 570 万人以上であり、この数は高齢化に伴い急増している。また人々はできる限り長く自宅に住み続けるようになったため、アルツハイマーや他の認知症の人たちのニーズに応えるよう、地域へのプレッシャー

が高まっている。

この問題へ対応するために、全国で認知症フレンドリー・コミュニティが広がっており、地元企業、警官、銀行員、大学生などが認知機能障害のサインに気づいたり支援方法を学んだりしている。

同国では、2015 年に高齢化に関するホワイトハウス会議で「認知症に優しいアメリカ(Dementia Friendly America)」が立ち上げられ、この取り組みの勢いが増した。

- <https://www.citylab.com/life/2019/05/aging-dementia-friendly-baby-boomer-denver/588406/>
- <https://www.dfamerica.org/>

●米国:マクドナルドが高齢者雇用に向けて AARP と提携

マクドナルドでは 2019 年 4 月後半、同社が AARP と提携して 50 歳以上の雇用に取り組むと発表した。同社は現在、AARP のウェブサイトには募集を掲載している他、AARP Foundation も独自のプログラムを通じて取り組みを支援している。

職種は、高齢者の「ソフトスキル」を活かし、レジ担当やシフトマネージャーなどを予定している。この取り組みは今のところ 5 州で試験的に行っているが、今夏には本格展開を計画している。

- <https://acl.gov/news-and-events/news/mcdonalds-partners-aarp-hire-older-employees>

●カナダ:デジタル化の波に乗る高齢者が増加

カナダ統計局によると、65-74 歳の人でインターネットを利用している割合は、2013 年には 65%だったが 2016 年には 81%に増加した。増加率は 75-84 歳で 15%、85 歳以上で 10%近かった。

このほかテレビ、補聴器、血糖値の測定などでも、スマートテクノロジーを活用するシニアが増えている。

- <https://www.mykawartha.com/community-story/9308307-internet-use-screens-and-communication-savvy-seniors-succeeding-with-tech/>

●オーストラリア:ナーシングホームで高齢家族を守るため、隠しカメラの売り上げが急増…でもその前に！

オーストラリアのウェブサイトによる隠しカメラ販売会社によると、ナーシングホームに入所している高齢者が虐待を受けているのではないかと懸念を持つ家族が急増しているとのことである。しかし法律の専門家は、カメラを設置する前に家族は下調べすることが非常に重要である、と指摘する。

監視機器の使用に関する法律の大半は、オーストラリア全国で類似しているが、地

域の法律を調べることが重要であり、また何よりも高齢者本人が自室にカメラを設置することを許可することが極めて重要である。

- <https://7news.com.au/news/crime/spy-camera-sales-spike-with-families-fearful-of-aged-care-abuse-c-85981>

●シンガポール:課題への対応にテクノロジーを活用する高齢者たち

モバイルアプリ「Homage」は、シンガポールに拠点を置く在宅ケアのマーケットであり、またシニアを質の高いケアにつなげるためのテクノロジープラットフォームである。このアプリでは、スマートフォン向けタクシー予約アプリ(Uberなど)のアセット・ライト(資産をもたない)モデルを採り入れている。

Homage ではスマートテクノロジーを活用して、日常生活からセラピーにいたるまで一連のサービスを提供し、要介護者と介護者や専門職のマッチングを行う。

- <https://www.smu.edu.sg/news/2019/05/06/harnessing-technology-tackle-singapores-ageing-challenges>
- <https://www.homage.sg/>

●マレーシア:新たな住宅担保貸付の導入

マレーシアでは他国の高齢化社会と同様の課題に直面し始め、対策として [More To Life](#) が立ち上げられた。

このプロジェクトでは住宅を所有している高齢者が割引価格で住宅を売却する。それと引き換えに彼らは現金を受け取るとともに、死亡するまでは家賃なしでそこに住む権利を得ることができる。

しかしこの所有権譲渡プログラムを採り入れるには、アジア人の考え方を変える必要があるだろう、と同プロジェクトの CEO は語る。これまで高齢者の多くは、遺産として不動産を次世代に残したいと考えてきた。

- <https://www.theedgemarkets.com/article/cover-story-helping-elderly-fund-their-retirement>

●台湾:180日の介護休業を提供するよう市民団体が政府に主張

80を超えるNGOおよび労働団体が、介護休業を求める署名運動を開始した。求めているのは180日の介護休業で、うち30日は有給、150日は無給の柔軟な休業としている。

介護休業の目的は、従業員が必要な時に高齢家族のケアを行う時間をさらに確保できるようにすることである。家族が要介護状態であるという医師の証明書を労働者が提示すれば、使用者側はこのような休業を拒むべきではない、と請願書では述べている。

➤ <http://focustaiwan.tw/news/asoc/201905160019.aspx>

●**英国:若年者を支援するために高齢者への給付を削るよう貴族院報告書が提案**
上記の報告書では、世代間の公平性に向けて貴族院が様々な提案を行っている。その中には大学に進学していない若者を対象とした研修資金の増額や、若者・高齢者の住宅ニーズへの対応などが含まれるが、高齢者向けの施策を削る案も含まれている。たとえば以下のような提案である。

- ◇ 公的基礎年金増額における3重ロック(平均収入の増加率、インフレ、または2.5%のうち高いものを採用)を廃止する
- ◇ 年齢に基づくテレビ受信料無料化を段階的に廃止(現在は75歳以上が無料)し、受信料無料化を世帯収入に基づいて行うかどうか政府が決めるようにする
- ◇ 65歳以上を対象としたバスの無料券や、退職年齢後5年間の冬季暖房費支援を制限する

➤ <https://www.bbc.com/news/uk-politics-48046595>

➤ <https://publications.parliament.uk/pa/ld201719/ldselect/ldintfair/329/329.pdf> (報告書)

●**英国:銀行の支店やATMの閉鎖により高齢者や貧困者がリスクにさらされる、と国会議員たちが指摘**

銀行の支店やATMの閉鎖を止める行動がとられなければ、英国はキャッシュレス社会になるリスクを抱えている、と英国の超党派財務特別委員会は指摘した。

同委員会はまた、金融サービス業者が顧客の最善の利益に沿って行動するよう義務付ける法律の必要性も述べていた。

消費者には、自らが選んだ方法で商品やサービスへの支払いを行う権利があり、また現金へのアクセスは維持されなければならない、と同委員会の報告書では述べられていた。

➤ <https://www.telegraph.co.uk/politics/2019/05/12/free-atms-bank-branches-should-saved-closure-say-mps/>

➤ <https://publications.parliament.uk/pa/cm201719/cmselect/cmtreasy/1642/164202.htm>

●**米国:オクラホマ州の新たな法案で、ナーシングホームの抗精神病薬使用基準を強化**

オクラホマ州は、ナーシングホームで抗精神病薬の処方が診断なしで行われるケースが最も多いが、同州の知事は、この状況から高齢者を守ると期待される法案

に署名した。

この法案では抗精神病薬の使用にあたり、医療専門職による身体検査および家族／介護者からの明確な同意を必要とするほか、入居者が薬を拒否しても退居を強要されないよう保護策を講じる。

- <https://www.newson6.com/story/40483481/new-bill-stops-nursing-homes-from-using-antipsychotic-drugs-without-a-diagnosis>

●オーストラリア:ニューサウスウェールズ州で高齢化・差別コミッショナーの法律が通過

同州では、独立した高齢化・差別コミッショナー (Ageing and Discrimination Commissioner) の法律を通過後、オンブズマンを任命する。

コミッショナーは国会が監督する可能性があり、その任務は体系的な虐待の精査である。また事件の報告には一般市民の力も借りる。また証拠を差し押さえたり虐待を調査したり、警察など他の機関へ案件を送致する権限も持つ予定である。

- <https://www.australianageingagenda.com.au/2019/05/08/nsw-laws-pave-way-for-australia-first-disability-and-ageing-watchdog/>
- <https://www.legislation.nsw.gov.au/bills/f969502e-1154-47e0-bcf5-7fb490a44ff8>

●フィリピン:「マカティ市地下鉄事業で高齢者を優先雇用」とマニラ市長

マニラ市の地下鉄事業が約 5 年後に稼働するが、その際には提携企業が就労可能なマカティの高齢者を優先的に雇用することに同意した、と市長は述べた。

建設や地下鉄運営で、約 1 万の仕事がマカティの住民にもたらされる。公務員法で年齢制限を受ける政府部門や機関と比較して、民間部門はより自由に高齢者を雇用できる、と市長は主張した。

- <https://news.mb.com.ph/2019/04/25/seniors-given-priority-in-hiring-of-makati-subway-workers/>



海外／国際機関の報告書・ガイドブックなど

●世界:WHO が認知症予防の新たなガイドラインを発表

このガイドラインでは、認知機能低下や認知症を予防するための生活行動様式や介入について、エビデンスに基づいた提案を行っている。

認知症の人は世界で約 5,000 万人おり、その数は 2050 年までに 3 倍に増えると予測されている。患者数が増加し、社会経済的な影響も大きい一方で、治療方法が見つからない現状を踏まえると、変更可能な認知症リスク要因を減らすことは国にとって極めて重要である。このガイドラインは医療提供者だけでなく、政府や政策立案者、その他関係者にとっても、認知症の課題への対応を強化するために重要なツールである。

- <https://www.who.int/news-room/detail/14-05-2019-adopting-a-healthy-lifestyle-helps-reduce-the-risk-of-dementia>
- https://www.who.int/mental_health/neurology/dementia/guidelines_risk_reduction/en/

●世界:認知症に関する世界計画の新たな ADI 報告書で緊急対策を呼びかけ

WHO の「認知症への公衆衛生対応についての世界行動計画 2017–2025」採択 2 周年を記念し、世界アルツハイマー病協会 (ADI) は新たな報告書「計画から実践へ II: 行動への緊急ニーズ (From Plan to Impact II: the urgent need for action)」を公表した。

報告書では、世界計画の目標 1 で呼び掛けている「WHO 加盟 146 か国で、認知症に関する計画・政策・枠組みを 2025 年までに策定する」について、進捗状況を記載しているほか、採択された計画や展開について世界各国の事例を紹介している。しかし、これまでのところ、全国的な計画を策定した WHO 加盟国は 26 か国に過ぎない。この 2 年間で計画を策定したのはわずか 2 か国 (チリとカタール) であり、このスピードでは 2025 年までに目標を達成できない見込みである。

- <https://www.alz.co.uk/news/adi-launch-new-from-plan-to-impact-report>
- <https://www.alz.co.uk/adi/pdf/from-plan-to-impact-2019.pdf>

●世界:人道的支援における認知症に関する報告書発表

世界アルツハイマー病協会 (ADI)、世界アルツハイマー & 認知症行動連盟 (Global Alzheimer's & Dementia Action Alliance (GADAA)) およびパキスタンアルツハイマー病協会が発表した新たな報告書では、人道的危機において認知症の人たちが無視されていることが分かった。

報告書「危機で忘れ去られた人々: 人道的支援における認知症への対応 (Forgotten in a crisis: Addressing dementia in humanitarian response)」によると、包括的な人道的支援を義務付けるガイドラインがあるにもかかわらず、認知症の人々にはそれがほとんど実施されておらず、ニーズに応えるには程遠い状態であること

が分かった。最悪の場合には死に至っている。

この報告書は、人道的支援で障害に対応する必要性の認知向上に役立ち、また認知症に特化した最初の報告でもある。

- <https://www.alz.co.uk/news/adi-gadaa-and-alzheimers-pakistan-launch-report-on-dementia-in-humanitarian-settings>
- https://www.alz.co.uk/sites/default/files/pdfs/Forgotten%20in%20a%20Crisis_report_2019.pdf

●世界数か国:アルツハイマー病患者、実は別の種類の認知症か＝国際研究

「これまでにアルツハイマー型認知症と診断されていた人の中には、実は新たに発見された種類の認知症だった人が多く含まれている」と国際研究チームが発表した。研究は医学誌「ブレイン」に発表された。LATE (Limbic-predominant age-related TDP-43 encephalopathy、大脳辺縁系優位型老年期 TDP-43 脳症)と呼ばれるこの症状は、アルツハイマー型認知症と似ているが、異なる病気だという。

新たな認知症が特定されたことで、これまで認知症の治療方法が確立してこなかった理由が明らかになるかもしれない。

- <https://www.bbc.com/japanese/48116477> (日本語記事)
- <https://academic.oup.com/brain/advance-article/doi/10.1093/brain/awz099/5481202> (英語論文)

●英国:無料バス券を活用する高齢者は QOL が高い傾向

UCL (University College London) の研究では、バスの無料券を所有する高齢者は持たない高齢者よりも身体的活動レベルが比較的高く、社会的にも孤立していないことが分かった。無料バス券の所有者は運動不足である割合が 37% 低く、また社会的孤立の割合も 1/3 低かった。

スコットランド、ウェールズおよび北アイルランドでは、60 歳以上の人は無料でバスを利用できる。

- <https://www.newsletter.co.uk/news/traffic-and-travel/free-bus-passes-make-elderly-healthier-and-happier-1-8911182>
- <https://www.ucl.ac.uk/news/2019/may/bus-passes-linked-increased-happiness-older-adults>

●英国:生涯にわたる偏見が LGBT の高齢者たちの健康へ悪影響

UCL (University College London)、カーディフ大学および ILC-UK の研究によると、

LGBT の高齢者たちは、生涯にわたる偏見やスティグマによって、身体的および精神的健康状態が比較的悪く、また医療やソーシャルケアにもアクセスしづらく、社会的孤立や孤独にも陥りやすいことが分かった。また異性愛者以外の男性は、全体的な生活満足度も低かった。

- <https://ilcuk.org.uk/raising-the-equality-flag-health-inequalities-among-older-lgbt-people-in-the-uk/>
- <https://ilcuk.org.uk/wp-content/uploads/2019/05/ILC-Raising-the-equality-flag.pdf>

●英国:「ケア砂漠」:イングランドでは 30%の地域で居住型施設ケアベッドがない

Age UK の報告書によると、65 歳以上の約 7 人に 1 人が必要なケアを受けていない。約 30%の地域では居住型施設ケアのベッドがなく、ナーシングホームではその数値が 62%にのぼる。

看護師不足によって、多くの地域で介護人材不足となり、高齢者は必要なケアを受けるために遠くまで移動しなければならない状況である。

- <https://www.bbc.com/news/health-48228623>
- <https://www.ageuk.org.uk/globalassets/age-uk/documents/reports-and-publications/reports-and-briefings/care--support/care-deserts---age-uk-report.pdf>

●米国:単一で中程度の運動であっても記憶維持に効果の可能性—調査結果から

国際神経精神学会の雑誌 Journal of the International Neuropsychological Society で発表された研究結果によると、単一で中程度の運動が、脳の機能や名前等の認識能力などへ直ちに効果を示す可能性があることが分かった。この調査では、55—85 歳の健康な男女 26 名を対象に行われ、30 分間のエアロバイクを 1 セッション実施したところ、意味記憶に最も関わる脳の部分が休息時と比較してはるかに活動的となった。

- <https://www.nytimes.com/2019/05/01/well/move/how-exercise-affects-our-memory.html>
- <https://www.cambridge.org/core/journals/journal-of-the-international-neuropsychological-society/article/semantic-memory-activation-after-acute-exercise-in-healthy-older-adults/07DE0F919CEFBCE268A95474DFA1BC47>

●オーストラリア:ワクチンで予防可能な入院増加によって高齢者が 病院を埋め尽くす

2017-2018 年入院患者ケア報告によると、この 5 年間で、公的資金による入院は年平均 4.7%であった一方、民間保険の支払いによる入院増加率は、年平均 3.6%であった。オーストラリアの人口の約 15%を占める 65 歳以上の人たちが、入院日数のほぼ半数を占める。

報告ではまた、不要な入院の現状も示しており、この 2 年間(2016-2017、2017-2018)だけでも、ワクチンで予防可能な入院が約 47%増加した。

- <https://www.sbs.com.au/news/more-ageing-aussies-being-taken-to-hospital-for-preventable-illnesses>
- <https://meteor.aihw.gov.au/content/index.phtml/itemId/641349>

●ニュージーランド:新たな報告書で介護者のレスパイトニーズが浮き彫りに

「ニュージーランドのレスパイトケアシステムは危機的状況であり、至急対応が必要である」と同国のケアラー連盟による新たな報告は呼び掛ける。この報告書では、問題へ対応するために政府がとらなければならない8つのステップをまとめており、その中には至急対応が必要な、以下3点の優先分野も含まれる。

- ◇ すべての地域保健局がレスパイトサービスを見直し、また認知症を優先しながら計画を立て直す。
 - ◇ レスパイトケアの質とアウトカムに関する枠組みを策定する。
 - ◇ 部門横断的な管理およびリーダーシップグループを立ち上げる。その主な役割は、政府全体を通じて政策のまとまりを持たせることである。
- <http://carers.net.nz/carers-desperately-need-care-says-new-report/>
 - <http://carers.net.nz/wp-content/uploads/2019/05/We-Must-Do-Better-Respite-Report-FINAL-March-2019.pdf>



持続可能な開発目標 (SDGs) 関連情報

●国連:「すごろく」で SDGs を学ぼう(日本語情報)

国連広報センターはこのたび、ブリュッセルの国連地域広報サービス (UNRIC) が Elyx の創作者ヤシン・アイトウ・カシ (YAK) の協力を得て作成した Go Goals を日本語化した。下記ページから、遊戯盤や遊び方の説明、コマやサイコロなどの手作りキット、クイズなどをダウンロード可能。

- https://www.unic.or.jp/activities/economic_social_development/sustainable_development/2030agenda/go-goals/

●OECD:先進諸国には、持続可能な開発目標達成に向けて取り組むべきことが膨大にある(報告書)(概要は日本語情報あり)

OECD の新たな報告書、「SDG ターゲットまでの距離を測る 2019 年版 : OECD 加盟国の現状評価 (Measuring Distance to the SDG Targets 2019: An Assessment of Where OECD Countries Stand)」によると、ほとんどの OECD 諸国で電力、モバイルネットワーク、基礎的衛生施設が広く利用できる。しかし、OECD 諸国でも多くの人々が取り残されており、男女平等や不平等の削減に関わるターゲットがまだ達成できていない。さらに懸念すべきことに、一部のターゲットについて誤った方向に進んでいる国々があり、2005 年以降実績が悪化している。

本報告書は、244 の指標からなる国連グローバルリストを用いて、各国の進捗状況とデータが欠如している分野を SDG の 17 の目標とそれを支えるターゲットについて比較するという独自の手法を用いている。また、2030 アジェンダのターゲットの半数以上が国境を越えて影響を及ぼすため、それを一国内で達成すると他国または気候のようなグローバルな公共財にも何らかの影響があることを明らかにしている。

- <http://www.oecd.org/tokyo/newsroom/advanced-economies-still-have-plenty-of-work-to-do-to-reach-sustainable-development-goals-says-oecd-japanese-version.htm>
- [file:///C:/Users/yoshi/AppData/Local/Packages/Microsoft.MicrosoftEdge_8wekyb3d8bbwe/TempState/Downloads/Measuring_Distance_to_the_SDG_Targets%20\(1\).pdf](file:///C:/Users/yoshi/AppData/Local/Packages/Microsoft.MicrosoftEdge_8wekyb3d8bbwe/TempState/Downloads/Measuring_Distance_to_the_SDG_Targets%20(1).pdf) (報告書本文:英語)